学校通信

# 和の光

令和７年（２０２５年）６月⑫

宝塚市立西谷中学校

## 進路を切り拓くために

校長　筒井　啓介

保護者の皆様におかれましては、お子様の進路選択に関して、分からない点や不安に思う点もあることと思います。進路についての問題は担任を窓口とし、生徒・保護者の皆様で互いの思いを出し合って、丁寧に話し合いながら「子どもの希望する進路の実現に向けた取り組みを進める必要がある」と考えています。時には厳しいことを言わなければならない場合もあるでしょう。しかし、厳しいことを言って終わりではなく、これからどうしていくのかを共に考えて行く、その姿勢を大切にしたいと思っています。

下記に、進路実現に向けてお伝えしたいことを挙げていますので参考にしてください。

【大切にしたいこと】

①子どもを否定するのではなく、まずは進路に対する子どもの考えを受け止めてください。どうすればその進路が実現できるのかを子どもとともに考えてください。

②誉めて伸ばす教育が大切だと思います。否定してばかりでは、子どもの自尊感情やモチベーションアップには繋がりません。良い点や頑張りを見つけて子どもを励ましてください。

③各教科の基礎基本を確実に身に付けるために、必ず家庭学習の習慣を身に付けさせてください。

④できなかったことができるようになる。分からなかったことが分かるようになる。この積み重ねこそが勉強です。朝学習のプリント、定期考査で間違えた問題など、放置せずに必ず解けるようにしてください。

⑤中学校卒業後の進路は、全日制高等学校進学だけではありません。専修学校や通信制の高等学校など多様な学びの形態があることを知ってください。

⑥受験を希望する学校については、オープンスクールや説明会に参加し、必ずお子様の目で確認をしてください。部活動に力を入れる学校、大学進学に力を入れる学校など学校ごとに特色があります。入学してみて、自分に合わない、こんなはずではなかった……のようなことで、１年生の夏休み明けに退学する生徒が多いことは事実です。

⑦特色選抜や推薦入試で受検を考えている場合、論文や実技検査が課されます。論文については、文章作成力が必要ですが、文章を書くためには様々な知識が必要です。単なる暗記では対応ができません。与えられたテーマについて自分なりの考えを述べる力が必要です。

そのためにも、批判的思考（critical thinking）力が必要になります。「物事や情報を無批判に受け入れるのではなく、多様な角度から検討し、論理的・客観的に理解する力」を養うことが大切です。

批判的思考力を養うために（例）

⇒日頃から新聞やテレビのニュースに目を向ける。新聞記事を切り抜き、ノートに貼り付け、読んで感じたことや自分なりの考えを書く。読者の欄やコラムなど身近な内容から取り組むのが良いでしょう。

【過去の問題例】

●A 高校

①実習や研究で興味があるもの。[160～200 字]

②卒業後の進路について。[160～200 字]

③日本の農業の食糧自給率を上げる方法と輸出率を上げるアイデア。[300～400 字]

●B 高校

①身近なヒット商品について。[80～100 字]

②商品開発の必要性と、就きたい職業につくために学びたいこと。[400 字]

●C 高校

①『ぐりとぐら』の一文から、自分だったらどのような行動をするか。[共通/200～300 字]

②谷川俊太郎の『色』より、どんな情景を想像したか。また、それを作品にするならどんなものか。[デザイン科選択/300 字]

**※６月１２日に開催した「第１回進路説明会」での校長挨拶より**

## ■６月の生徒朝礼を行いました

教育実習生からの挨拶

各委員からの報告

連想ゲームを楽しみました

６月の生徒朝礼が行われました。この生徒朝礼は生徒会が中心となって運営をしています。昨年度までは月に１回、１５分間での開催でしたが。今年度からは５０分間に時間を変更しました。その理由は、単に委員会からの報告で終わるのではなく、学校生活の課題についてみんなでじっくりと意見を交わしたり、生徒間の交流を深めたりするには十分な時間の確保が必要だと思ったからです。

今月は、生徒会長からの話に続き、各委員からの取り組みの報告が丁寧に行われました。また、今回は教育実習生の片山奈々さんからも話を聞かせていただきました。全ての話が終わってからは、生徒会執行部のメンバーが企画した「連想ゲーム」で盛り上がることができました。

生徒朝礼は月に１回の実施ですが、この取り組みを通して「生徒の主体性」「コミュニケーション能力」「学年を超えた人間関係の構築」など様々な力が育まれることを期待しています。（6 月 10 日）

## ■救命講習を行いました

心臓マッサージの実習

１分間に１００～１２０回のペースで圧迫します

ＡＥＤの使い方についても学びました

宝塚市東消防署西谷出張所の皆様にご協力いただき、生徒向けの救命講習を行いました。多くの生徒が初めての体験でしたが、消防隊のみなさんが丁寧な説明をしてくださり、全員が心臓マッサージとＡＥＤの使い方について学ぶことができました。

学校や日常の生活で緊急の事態が発生した場合、今回学んだ知識を基にして、慌てずに適切な対応ができるように願います。貴重な学びの機会を提供いただきました宝塚市東消防署西谷出張所の皆様に心からお礼を申し上げます。（6 月 11 日）